

星峯中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和6年6月25日(火)18:00～19:00

場所:知的障害者福祉センター(ふれあい館) 体育館

鹿児島市 市民協働課

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年6月25日（火）18：00～19：00
場所：知的障害者福祉センター（ふれあい館） 体育館

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	星峯東小学校おやじの会	近所の公園には「野球やサッカー、自転車はできません」との看板が出ていて、子供たちがキャッチボールや野球をしたいと思っても手軽にできる場所がないので、いい方法はありませんか。	公園でもボール遊びができたらと思う一方で、ボールが他の利用者に当たった、道路に飛び出してきたといった事例もあるので、制約を設けているところです。 星ヶ峯でボール遊びをする方法としては、1つはスポーツのできる公園に指定されている中央公園を使用する方法があります。こちらは基本的に予約をして、有料で使用いただく公園ですが、予約が入っていない時に、大人がついてキャッチボールをしたり、少人数でボールを蹴ったりする程度の使用の際は、予約なしで利用できますので、ぜひ公園の方にご確認いただければと思います。 もう1つの方法としては、あらかじめ何人かの団体に登録をし、使用の際は大人がついて、使用する子供達・大人を含めた全員がスポーツ保険に加入いただくといった条件を満たせば、学校を使うことができる仕組みがありますので、学校にご相談いただければと思います。	建設局 観光交流局 教育委員会	【建設局】【観光交流局】【教育委員会】 市長回答のとおり
2	星峯東校区コミュニティ協議会	2年ほど前に教育委員会から「星峯東小学校の生徒数が少なくなってきましたが、今後どうしていきましょうか」との話がありました。個人的には学校が近くから無くなるのは良くないと思っていましたが、子供達や保護者のことを考えると、生徒が多い方が教育面では良いのかなと考えています。ただ、もう2年になります、それ以降具体的な話が全く地域におりてきていません。 今どのように検討されていて今後どうなっていくのか、また、地域とどのように協力していけば良いのかをお伺いしたいです。	平成30年に「学校規模適正化に関する基本方針」を作成しました。これは、小・中学校で学級数をみて、大規模校、小規模校に分類し、適正な学校規模を目指していくものですが、具体的にどこを統合するといった話は全く含まれていません。あくまでもこの学校規模適正化は、地域の皆様のご理解を得ながら進めていくこととしています。 今のところ、実際に統合に向けて動いているのは桜島のみで、小学校6つ、中学校2つが統合して「桜島学校」という小中一貫の義務教育学校ができる予定です。 星ヶ峯の今後の見通しとしては、6年後には星峯西小、東小の両校とも小規模校になることが見込まれています。 もう1つの課題として、あと10年もすると、ほとんどの学校が建替えの時期を迎えます。ここに合わせて、子供たちにとって、ハード面や先生方の配置的にも良い環境を提供できるか、英語やITなどの新しい教育をどう組み込んでいくのかをこれから地域の皆さんと一緒に考えていきたいと考えております。 現状はご説明したとおりです。	教育委員会	【教育委員会】 市長回答のとおり

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年6月25日（火）18：00～19：00
場所：知的障害者福祉センター（ふれあい館） 体育館

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	星峯東校区 コミュニ ティ協議会	4、5年前に鹿児島交通が減便して1丁目に全くバスが通らなくなり、皆さん困っていたので、東校区全戸を対象にしたアンケート結果をもって、鹿児島市と鹿児島交通にあいばす、路線バスの増便についてお願いに行きました。その結果、鹿児島交通の便が復活し、とてもありがたいと思っています。 市の予算の関係もあり、なかなか難しいとは思いますが、団地内を周回して広木駅に行くようなあいばすの路線を検討いただきたいです。	今、課題となっているのが、運転手が足りないことです。その中で、鹿児島市では民間のバス会社を巻き込んで、どの地域でどこが運行するかを再構築する協議会を立ち上げて、今動いているところです。 やはり今、運転手の数が限られている中で、みんなが便利になるルートやダイヤを、データも取りながら考えているところです。 あいばすについては、予算もですが、今はとにかくバスの運転手が足りないという問題があるので、路線バスが走っていない地域とさせていただいていることもあり、新路線の拡充は非常に難しい状況にあります。 市の取組として、地域の方々を取り組むボランティアの運送手段に対して50万円までの補助金を出す仕組みを実験的に始めていますので、もしご興味があれば担当課にご相談いただければと思います。	企画財政局	【企画財政局】 市長回答のとおり
4	星峯東校区 コミュニ ティ協議会	市政報告にあった保育士への補助金をこれからも続けて欲しいと思えます。また、待機児童がゼロになったとのことですが、この先人口が減っていくので、子供の人数に対する保育園の数が余っていくのではないかと心配になりました。	そのようなご心配の声はいただきます。ただ、確かに子供の数は減りますが、保育園の利用率は上がっているので、しばらくの間、保育園が必要な子供の数は横ばいになるだろうとみています。 今回待機児童ゼロを実現したことで、今までは「鹿児島市は待機児童数が多いから預けられないだろう、働きに出られないだろう」と思っていた保護者の方が「ちゃんと預け先があるなら働こう」と思われることで、保育園を必要とする方がどんどん増えてくると考えています。 そして、最も大切なのは、どれだけ保育士の方に鹿児島市に来ていただけるかです。保育士の配置基準を手厚くしていく流れがあるため、保育園に通う子供の数が同じでも、保育士の数は今までよりも必要になります。 また、「こども誰でも通園制度」を園が始めようとしています。これは、今までは両親ともに働いていて、子供を見る人がいない人だけが保育園を使いましたが、これからは、例えば専業主婦の方でも週に何度か預けるような使い方もできるようになります。この制度が始まると、より保育士の方が必要になりますので、待機児童ゼロを一度は実現しましたが、引き続き保育の受け皿、それを支える保育士の方が必要な状況がしばらくの間続くと考えております。	こども未来局	【こども未来局】 市長回答のとおり

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年6月25日（火）18：00～19：00
場所：知的障害者福祉センター（ふれあい館） 体育館

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	子育てサロンほほえみ	病院でのこども医療費の窓口負担をなくしてほしいです。窓口負担がなくなれば安心して子供さんを病院に連れていけるという場合もあるので、よろしくをお願いします。	これまで県の制度で立替払いとなっていました。県の制度見直しがあり、最初から立替払いをしなくてよい仕組みにすることが発表されたので、県に合わせて本市でも対応したいと考えています。 県の制度変更では、立替払いはやめますが、月3,000円の窓口負担を求めています。また、未就学児のみを対象としているため、これを超える部分については市で負担する必要があります。どこまで自己負担を下げられるか、また、何歳まで対象を広げられるかについては、財源との調整が必要になりますので、検討を進めているところです。	こども未来局	【こども未来局】 市長回答のとおり
6	子育てサロンほほえみ	8年前にこども食堂を始め、月1回の食堂だけでなく生活困窮者の方に個別支援も行っています。市営住宅の5階に住んでおり、こども食堂関係の荷物を運ぶことが大変になってきました。一方で、住民の高齢化も進み、空き部屋も4割ほどあります。 私達は見守りメイトや認知症サポーターもやっており、高齢者の方から「人と何日も口を利かないことがある」「寂しいけど出かける場所もない」との話も聞きます。ぜひ市営住宅の空き部屋を貸していただければ、高齢者の方が利用者としてだけでなく、ボランティアとして活躍いただける場として、認知症予防にも期待できるのではないかと考えています。 こども食堂、地域の居場所として市営住宅の空き部屋を活用させていただければと思っています。	市営住宅に空き家が目立つようになってきているので、空き部屋がある団地については、住む以外の利用ができないかどうか検討を始めているところです。	建設局	【建設局】 市長回答のとおり

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年6月25日（火）18：00～19：00
場所：知的障害者福祉センター（ふれあい館） 体育館

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	星峯西校区 コミュニ ティ協議会	町内会加入者を増やすように市は推進していますが、具体的にはどのようなことをしていけばよいでしょうか。	<p>町内会の加入率については、市内全地域で共通する大きな課題であり、加入率向上と役員の負担軽減のための取組を積み重ねてきています。</p> <p>一番大切なのは、若い世代が引越してくるタイミングです。新しい地域に引越すと、その場所がどの町内会かわからないので、ネットで加入申込みのできるプラットフォームを設けました。また、賃貸の加入率が低いため、仲介業者、不動産業者と連携を結びました。</p> <p>また、「役員になりたくないから入りたくない」という声もあるので、役員の負担軽減も非常に大切です。そこで、町内会費の徴収のようにどの町内会にもある業務にデジタルを活用する実証実験を行い、効果を検証しているところです。あわせて、市や様々な団体からの配付物が多すぎるので、なるべくそぎ落とすように指示をしています。</p> <p>市役所職員の加入率についても定期的に調査を行い、入っていない職員は入るように呼びかけを行っています。</p>	市民局	【市民局】 市長回答のとおり
8	星峯西校区 コミュニ ティ協議会	地域の人口格差が激しいですが、地域の移動手段としてあいばす以外に細かく手段を拡充していく考えはあるかお伺いしたい。	<p>従来のバスやタクシーだけでは運転手不足の問題に直面するため、新たな交通手段を取り入れていかなければなりません。地域が自主的に取り組む運送手段に対して補助を出したり、A Iを使ったオンデマンド交通の実証実験を去年から谷山地域の公共交通不便地など、慈眼寺駅周辺で行ったりしています。これは、A Iが最適なルートを組んで、少ない運転手で複数の人を運ぶ仕組みです。</p> <p>また、今年の秋から天文館エリアからの相乗りタクシーの実証実験も始めます。これはアプリを使って、同じ方面に帰る人に乗り合わせてもらうことで、料金も割り勘にでき、運転手1人で複数の人を運べるものです。このような新たな交通手段をまずは実証実験から取り組んでいきますので、ぜひ注目していただきたいと思います。</p>	企画財政局	【企画財政局】 5年度のA I オンデマンド交通実証実験は、11月20日～1月31日。6年度は、5年度と同じ谷山地域において、有料のA I オンデマンド交通の実証実験を行う。 相乗りタクシー実証実験は、秋（10月）から実施予定。 その他は市長回答のとおり。

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年6月25日（火）18：00～19：00
場所：知的障害者福祉センター（ふれあい館） 体育館

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	星ヶ峯西小学校おやじの会	星ヶ峯6丁目から上がってくる道路で、正面衝突や住宅に飛び込むような事故が起きているので、交通安全対策として信号の位置や、標識の再確認、再点検等の対策の基準はどのように設けられているのかお伺いしたいです。	通学路の安全対策・安全点検については、各校区ごとにスクールゾーン委員会を設けていただき、定期的に学校とPTAなどで巡回をしていただいています。その中で対策が必要な箇所については、市でできることは市で、横断歩道や信号のように県警の管轄となるものについては、県警におつなぎするなどして順次対策を行っています。	危機管理局 建設局 教育委員会	【危機管理局】【建設局】 市長回答のとおり 【教育委員会】 市長回答のとおり 引き続き、児童生徒の交通安全指導の徹底を行うとともに、通学路の安全確保に向けた関係機関との連携を強化してまいります。
10	星ヶ峯東校区コミュニティ協議会	子供の数は減っていますが、市営住宅の空き部屋は増えているので、家賃の減額など子供がいる家庭が特に重点的に市営住宅に入れるようなシステムを作っていただくと、小学校の子供の数も増えるのではないかと思います。	団地はみんな一緒に年をとるというのが、星ヶ峯を含め、大きな課題です。そこで大切なことは、世代間の入れ替わりをどう促進し、特に子育て世代に団地に入ってきてもらうかです。 市営住宅に関しては家族構成や所得判定で家賃が決まるため難しい面はありますが、民間の買家や分譲に対して、子育て世代が引っ越してくる際に、引っ越し代の一部を補助するものや、住宅を建設・取得する際にフラット35の金利優遇をするものなど、新たな仕組みを導入しました。 そういった仕組みを活用しながら、少しでも団地に子育て世代が移り住んでいただけるように取組を進めてまいりたいと考えております。	建設局	【建設局】 市長回答のほか、入居者募集の際、新婚・子育て世帯に対して優先入居を実施している。 また、入居要件の緩和などの取り組みを検討している。

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和6年6月25日（火）18：00～19：00
場所：知的障害者福祉センター（ふれあい館） 体育館

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	星峯東校区 コミュニ ティ協議会	<p>日本人は働きすぎだと思います。外国のようにゆとりがある社会も良いと思います。</p> <p>また、温暖化は今になって分かったことではなく、何年も前からこうなのは分かっていたのに、本腰を入れて取り組んできませんでした。温暖化のように、長いビジョンで今から取り組んでいかないと大変なことになるような問題について、取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>働き方改革は非常に必要だと思います。ITを使って仕組みを効率化することで、浮いた時間を趣味や家族と過ごす時間などに充ててほしいと思っています。市でも率先して進めてまいりたいと思います。</p> <p>また、将来の予測をするのも大切なことで、温暖化もそうですが、人口減少問題も2000年ごろには分かっていたはずですが、人口減少問題については少子化対策を頑張ればあなたも人が増えるかのように考えられてきました。もちろんその努力は必要ですが、それでも人が減るとというのがデータから見た事実です。ですから、人が減る社会をどういう仕組みに変えて、再構築していくのかというのが、私が市長となって取り組んでいるメインテーマです。</p> <p>私も時代の潮流をしっかりとらえて、30、40年後に必要な手を今から打てるようにできる限り取り組んでいきたいと思っています。</p>	企画財政局 産業局 総務局	【企画財政局】【産業局】【総務局】 市長回答のとおり